

マタイの福音書
聖書講解シリーズ

5) ナザレの帰還

マタイ 2:19-23

2019.2.3 HKJCF

1

概観

クリスチャンとしてどのように聖霊の導きに
従って生きるか、そしてへりくだりの大切さ
について学びたい。

アウトライン

- | | |
|-------------|--------|
| 1. 主の導きの理解 | V19-20 |
| 2. 人間の従順と観察 | V21-22 |
| 3. 主の生き方に倣う | V23 |

2

1. 主の導きの理解 V19-20

- 1) 御言葉の導き：御使い→イエス様→聖霊（ヨハネ 14:17）。聖霊の大切さ（1コリント 2:14-15）⇒霊性が育ち、聖霊に満たされること。
- 2) キリストの体の導き：信仰の先輩の助言を求める習慣（箴言 11:14; 15:22）。
- 3) 祈りの導き：会話のイメージ。主に対する期待を持つように（エレミヤ 33:3）。御心を確認しながら計画するが、主のご介入に従う（ヨセフの体験）。「主は良いお方」という信頼。

3

2. 人間の従順と観察 V21-22

- 1) 従ってみる決断：過去2回の体験、守られた実績（2:20）からの平安；従順はプロセス（ヘブル 5:8-9）⇒体験で学んでいく。
- 2) 状況の観察：ヘロデ王→アケラオ。祈って任せるのではなく、情勢や変化を確認する。
- 3) 再度祈って確認する：再度聴いていく（V22）→答えがない時、主を信頼し決断する。
- 4) 主の方法：「イスラエルの地→ガリラヤ地方→ナザレ」＝一歩従ったら、一歩見せられる。

4

3. 主の生き方に倣う V23

- 1) 旧約との関連：新しいモーセ（出エジプト 4:19）⇒より偉大な仲介者。
- 2) ナザレについて：ナタナエルの反応（ヨハネ 1:46）；約500人の町；異邦人が多い地域；ヨセフとマリヤの出身（ルカ 2:39）。
- 3) 預言者たちの成就：特定の一つの御言葉はない⇒詩篇22:1, 6-8; イザヤ49:6; イザヤ53:3。
- 4) 主の生き方の示唆：見捨てられ、さげすまれ、あざけられ、しもべになり、尊敬されない。

5

適用

- 1) 御声を聴いていく習慣を持つように：将来の計画をしつつ、決断する前に、御声を聴いていくように。
- 2) イエス様の歩みに倣うように：自分のためではなく、御国の前進のために、へりくだった生き方を模範にするように。神様の目だけが価値がある。

6